

白井なおこ

しらい・なおこ
REPORT Vol.13



日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこ REPORT 発行日：2022年1月10日
発行：日野・生活者ネットワーク 発行責任者：出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル4階
TEL: 042-514-8695 FAX: 042-514-8697 E-mail hino-net@cap.ocn.ne.jp

議
会
一
般
質
問

家族の介護や看護等を担うケアラーは、誰にも相談できずに苦しんでいます。まずはケアラーの声を聞き、支援策の充実と、担当課を超え全体で取り組むよう、支援条例の設置を求めました。また2つめに、高幡エリアに子育てひろばの設置を提案しました。

ケアラーを社会で支えるために

一般社団法人・日本ケアラー連盟では、ケアラーを「こころやからだに不調のある人の介護・看病・療育・世話・気づかいなど、ケアが必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人」と定義しています。

18歳以下のヤングケアラーについては2018年に質問でも取り上げたところですが、その後認知が高まり、国も実態調査をはじめると大きな動きがありました。それを機に多様なケアラーを見える化すること、ケアラー自身が支援の対象であることに気づくことが大切です。ケアラーには次の4つの特徴



この4年間、この議場で数々の質問や提案をしてきました。その経験を次の4年間につなげられるよう、頑張ります！

刑法の性犯罪規定の見直しに関する意見書

性犯罪は「魂の殺人」と言われるように、被害者の人権を著しく侵害する重大な犯罪です。加えてコロナ禍の中、子どもが性犯罪に巻き込まれる事件が増加しています。

現在、国では刑法の性犯罪規定の見直しの審議が行われています。特に子どもを守る観点からの要望(性交同意年齢の引き上げの検討等)を意見書にまとめ、全議員から賛同を得て日野市議会として、国に提出することができました。

今後の審議の行く末にもご注目下さい。



毎月11日、性暴力根絶を訴えています。

- ①それが当然であると本人や周囲も思い込んでいる
 - ②本人が自身の心身の状態等の問題に気がついていない
 - ③困りごとが整理できず誰に何を相談していいかわからない
 - ④今後の暮らしや人生に見通しが持てない
- 痛ましい介護殺人や介護自殺、介護虐待が後を絶ちません。ケアラーは孤独感と疲労感に追い詰められてしまっています。支援がなければ、ケアラー自身が心身の健康を損ない、仕事を失い、結果的に医療費・介護費用・生活保護費などが増加し、社会全

体が縮んでいきます。共生社会の実現にケアラー支援の視点は欠かせません。市長からは最終的には条例の設置をと答弁がありましたので、今後の取り組みに期待します。

高幡エリアに子育てひろばを！

高幡不動駅周辺には、小さな子どもと歩いて行ける室内遊び場がありません。これまでも子育て世代の市民からは多くの要望をいただいています。

市役所の隣に子ども包括支援センターができれば、高幡の子ども家庭支援センターの本部機能は移転します。その後は子育てひろばを設置し、気軽に相談もできる体制を整えることで、より一層きめ細かい網の目のような子育て支援を拡充できます。市長からも前向きな答弁を得ることができました。

12月議会トピックス

●ナラ枯れ被害大量に発生！

コナラなどのブナ科の木がキクイムシによって大量に枯れてしまう現象が全国的に発生しています。倒木の危険があるため、南平丘陵ほか市有地の約200本を処理する費用約3,000万円が補正予算に計上されました。

●ただいま保育園の民営化

市の負担額減と民間の活力を活かすため、保育園の民営化がすすめられています。その一環で市立ただいま保育園の建物を社会福祉法人に無償で譲渡し、管理運営を担っていただきます。

●デフリンピック東京開催を求める請願

聴覚障害者のスポーツの祭典「デフリンピック」を2025年東京で開催することを都に求める請願は全議員が採択し、日野市議会より都に開催を求める意見書を提出しました。大会を機に聴覚に障がいのある方への理解がすすみ、手話が広がることを切に願います。

●第三者委員会の調査報告

旧たかはた保育園の機能移転に伴う一連の疑惑等についての第三者委員会の報告、および市の見解が示されました。市は今度末を目前に、不当と指摘を受けた点の更なる調査をするとのことですが、市民が納得のいく説明責任を求めました。